

環境調査結果のお知らせ

令和4年3月24日午前に野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が16.3～16.7℃、塩分が34.2～34.6、溶存酸素量が6.8～8.7mg/Lでした。

湾内の透明度は4.0～10.5mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なプランクトンは確認されませんでした。麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で9 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

水温と塩分(表1・2)

水温は16.3～16.7℃、塩分は34.2～34.6でした。

前回調査時(R4.2.24)と比較して、水温は全層で0.6～1.2℃上昇し、塩分は全層で0.2～0.3低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.8～8.7mg/Lでした。

前回調査時と比較して、表層から10m層で0.2～0.6mg/L増加し、底層で0.1mg/L減少しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は4.0～10.5mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なプランクトンは確認されませんでした。麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で9 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

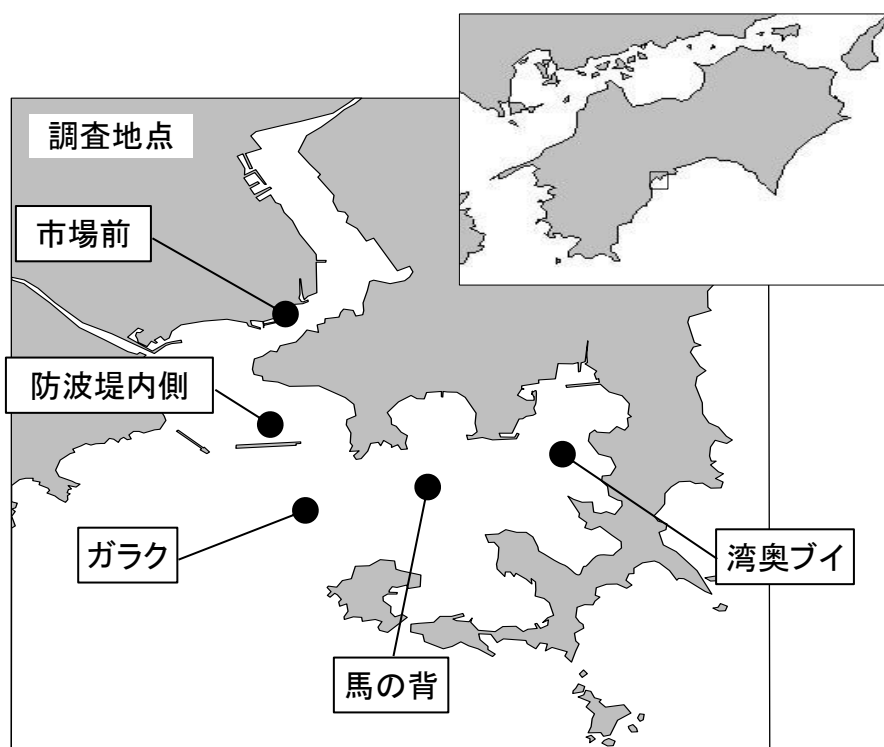


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.2.24)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	16.4	16.5	16.4	16.4	15.8	0.6	15.6	16.3
2m	16.3	16.5	16.4	16.4	15.8	0.6	16.1	16.8
5m	16.5	16.5	16.4	16.5	15.8	0.7	16.7	16.7
10m	16.6	16.5	16.4	16.5	15.7	0.8	16.6	16.6
B-1m	16.7	16.5	16.5	16.6	15.4	1.2	16.6	16.6

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.2.24)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	34.2	34.3	34.3	34.3	34.6	▲ 0.3	33.1	31.6
2m	34.2	34.3	34.4	34.3	34.6	▲ 0.3	33.8	33.9
5m	34.4	34.4	34.4	34.4	34.6	▲ 0.2	34.4	34.3
10m	34.5	34.4	34.4	34.4	34.6	▲ 0.2	34.5	34.4
B-1m	34.6	34.6	34.5	34.5	34.7	▲ 0.2	34.5	34.4

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.2.24)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	8.7	8.2	8.2	8.4	7.8	0.6	8.5	8.1
2m	8.6	8.1	8.2	8.3	7.8	0.5	8.5	8.0
5m	8.2	7.9	8.0	8.0	7.8	0.2	8.3	8.4
10m	7.9	8.2	7.9	8.0	7.7	0.3	8.4	8.5
B-1m	6.8	7.6	8.2	7.5	7.6	▲ 0.1	8.5	8.5

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.0	24.5	16.1	14.6	11.5
透明度	5.5	8.0	10.5	7.0	4.0
前回(2/24)	8.0	12.5	15.0	11.0	5.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		アレキサンドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	12
	2m	0	2
	5m	9	2
馬の背	0m	1	2
	2m	0	1
	5m	0	0
ガラク	0m	0	12
	2m	0	3
	5m	0	0
津波防波堤内側	0m	0	0
	2m	0	0
	5m	0	0
市場前	0m	0	5
	2m	0	0
	5m	0	3